

平成29年11月16日

杉並区議会議長
富本 卓 様

文化芸術・スポーツに関する特別委員会
委員長 吉田 あい

文化芸術・スポーツに関する特別委員会活動経過報告書

文化芸術・スポーツに関する特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

記

1 平成29年9月27日

(1) 報告聴取

ア 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの取組について

昨年7月より文化・芸術振興審議会で議論を重ねた取組がまとまったとのこと。

(ア) 区が目指すアクションとレガシーの創出

レガシーを「未来へ繋がる感動や体験」と捉え、区民参加を促し、全ての人
が「杉並に住んで良かった」と感じられる感動・体験の場を創出する。

(イ) 3つの目標

・区が持つ既存資源を活用し、新しい価値観や感動を生み出し、「SUGINAMI」
を国内外へ発信する。

・文化芸術に関する環境を整え、子供たちに感動と体験の場を提供する。

・多くの区民がオリンピック・パラリンピックに参加する機会を創出する。

(ウ) 目標の達成に向けた6つの取組

・文化・芸術活動助成金事業の活用による文化プログラムの支援

・協働提案事業における和文化発信に向けた取組

・すぎなみ地域大学におけるアートサポーターの育成

・南相馬市と連携した、アートによる交流を復興に繋げる取組

・発行物等の多言語表記やSNSにより杉並の魅力を国内外へ発信する取組

・教育委員会と連携した、オリンピック・パラリンピックの学習支援

イ 平成 28 年度杉並区における東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた主な取組について

(ア) 区民懇談会の設置・運営 (28 年度 5 回開催)

- ・現在は、自ら主体的にプロジェクトを進める「実行委員」を中心として、具体的にどのようにプロジェクトを進めるか検討している。

(イ) 区内連絡会議の運営 (28 年度 3 回開催)

- ・国、都、組織委員会の情報共有や区の取組を推進するために開催

(ウ) オリンピック・パラリンピックの機運醸成

- ・すぎなみフェスタでの体験プログラムやパブリックビューイングの実施

(エ) 大会を契機としたスポーツの振興・健康づくりの推進

- ・子供たちや保護者が楽しめる夏休みフェスティバルの開催等

(オ) 国際交流と杉並らしさを活かした観光事業の推進

- ・外国人向け語学ボランティアの育成や外国人観光客の受入環境整備

(カ) 障害者の社会参加支援の充実

- ・ユニカールやボッチャ体験会等の障害者スポーツ等の普及振興策の実施

(キ) 外国チームの事前キャンプ地の誘致

- ・永福体育館の屋外ビーチコート整備

- ・事前キャンプ候補地紹介用ホームページに上井草スポーツセンターを掲載

(ク) オリンピック・パラリンピック教育推進校での事業実施

- ・区内全学校を推進校に指定し、各学校の実態に応じた取組を実施

ウ 「夏休み！！みんなで遊ぼう！学ぼう！体験しよう！フェスティバル」の実施報告について

(ア) 目的

- ・オリンピックやパラリンピアンによる実演や種目体験など、「観て・触れて・知って・楽しむ」関連イベントを開催し、スポーツへの関心を高め、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運醸成を図る。

(イ) 開催日時と参加者状況

- ・平成 29 年 7 月 29 日 (土) 荻窪体育館・中央図書館

- ・参加者数 637 人 (大人 297 人、子供 340 人)

(ウ) 内容

- ・オリンピック種目体験 (ボルダリング体験や新体操教室)

- ・パラリンピック種目体験 (スポーツ義足体験やゴールボール体験など)

- ・文化体験 (外国人とその母国語で挨拶する体験など)

- ・オリンピックに関連する映画の上映やパラリンピック選手の講演会